



夏が始まるよ。

6月に登園自粛が解除されて、元気な子どもたちの声が毎日聞こえるようになりました。不安な表情を見せたり、涙の出る子どももいましたが、「久しぶり〜!」と両手を広げた職員の腕の中に走っていき、抱かれていく様子を見てみると、無事に保育園が再開できてよかったと心から思っています。

当園の理事長から、「新型コロナウイルス感染症対策と7月の保育について」という園だよりが出ています。広島に新型コロナ感染者がいないこの時期に、形は変わっても、最大の注意を払いながら、子どもたちの楽しみにしている今後の行事はできるだけ実施するなどの内容です。(キッズノートで配信しています。子どもたちの保育に関わる大切なお知らせです。必ず、目を通しておいてください。)

先日、キッズノートで配信させていただいた保護者会総会の書面決議では、皆様に承認をいただきました。その際に、年長児のお泊り保育は来年2月、湯来ロッジの予定となっていました。秋以降は、季節型インフルエンザの流行が考えられることに加えて、新型コロナウイルスの感染拡大への不安が大きいため、地域に感染者がいないこの時期に、急遽、7月29日～30日、「広島市似島臨海少年自然の家」に行くことが決まりました。施設は密を避けて、宿泊施設の人数が制限されていますが、28日～31日までは、みみょうグループで貸し切りさせていただいたため、広い施設をゆったりと使えるので安心です。職員で下見に行ってきましたが、大きなフェリーに乗って行くこと、キラキラした水面の美しさや海に浮かぶ島々が見える、虫や大きな葉っぱなど、自然豊かな所でした。保護者の方と離れ友だちと一緒に過ごす一泊二日はきっと、子どもたちの心に残る素敵な思い出になると思っています。無事に計画が進むようにと願っているところです。

また、延期となっていた運動会の日程も9月19日(土)に決まりました。楽しみにされていた乳児園の保護者の方には大変申し訳ないのですが、今回は、残暑が厳しい中ということや、会場の密を避けるために、にじ組(3歳あか組以上)のみの参加とさせていただくこととなりました。きょうだいは、乳児園にて預かりますので、ゆっくりとお兄ちゃん、お姉ちゃんとのひとときを楽しんで頂けたらと思っています。今後の行事についても、詳細が決まり次第お知らせいたします。

いずれも、新型コロナウイルス感染者がいないことが前提です。引き続き、感染防止には最大の注意を払っていただきますようお願いいたします。

さあ! 梅雨があけると、いよいよ、子どもたちの夏が始まります。乳児園でも幼児園でも、小さなプールや噴水を使って水あそびを楽しみます。この時期ならではの冷たくて、心地よくて、さまざまに変化していく不思議な“水”との出会いは、「何だろう、触ってみたい、もう1回やってみたい」という意欲へと繋がる素材となります。楽しく遊ぶ中で赤ちゃんたちは、水面を手で叩くだけで、パシャッと水が跳ねる感覚を感じたり、カップに水を入れたり流したりを繰り返すことで重さや量を知り、年齢が進むにつれて、色水での色の変化、また、水に浮くもの沈むものなどを体験しながら、さまざまな学びの力を育てていくことなのでしょう。この時期に、この年齢で経験してほしいと思うことが、存分に体験できるように、子どもたちのキラッと光る表情を大切に、道具も合わせて準備しながら進めていきたいと思っています。夏の水あそびにはご家庭との連携が大切です。引き続き、検温と、体調の報告、プールチェック等のご協力をよろしくお願いいたします。

園長

ぽかぽかドキュメンテーション 7月



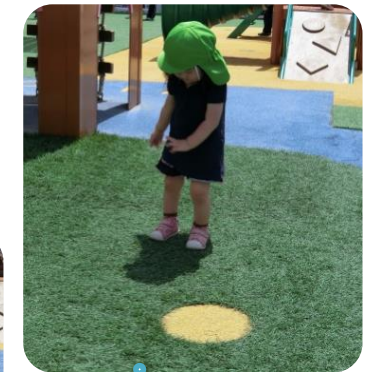
「みんな一緒にびっくりポン!」 ～ 梅雨の晴れ間のほっこりエピソード 編 ～

雨上がりの屋上は、夏の日差しと気持ちよい風があり、子どもたちも好きな場所で思いおもいに遊んでいます。そんな時、芝の上を歩いていた Y ちゃんが急に足元を見ながら立ち止まりました。そしてまたゆっくりと歩いたり、くると回ったりしています。何かに気付いたようです。そうです! 自分の影に気が付いたのです。そして、向きを変えたりゆっくり片足を出したりといろいろな動きで影の存在を確認していました。あそびの中で、気付く力や考える力が育っていますね。



あっ!

???



足を踏みかえたり
回ったり...



あれ?
Yちゃん...

影だね〜。



そんな Y ちゃんのいつもと違う動きを見た担任の先生が、「あれ? Y ちゃん...。」とつぶやくと、もう一人の先生もすでにその様子に気が付いていたようで、「影よ。自分の影で遊んでるんよ。」と、そっとささやきあっていました。

Y ちゃんの育ちを温かいまなざしでそっと見守る先生たち。とても素敵で、ほっこりした瞬間でした。子どもたちは、自分から何かに関わろうとしたりやってみようとする気持ちにあふれています。それを支えるのは、温かい大人の眼差しなんですね。

乳児園主任